

令和8年度第1回学校運営協議会長情報交換会 議事録要旨

日 時 令和8年7月3日（金）9時30分～11時30分

場 所 町民センター 2Aクラブ室

出席者 出席 13名

- ・二宮小学校 池田 学校運営協議会長、和田校長
- ・一色小学校 関口 学校運営協議会長、橋本 地域学校協働活動推進員、新井校長
- ・山西小学校 竹田 学校運営協議会長、井上 地域学校協働活動推進員、宮入校長
- ・二宮中学校 石井 学校運営協議会長兼地域学校協働活動推進員、北川校長
- ・二宮西中学校 泉 学校運営協議会長兼地域学校協働活動推進員、藤田校長

町 8名

- ・教育長
- ・教育部長
- ・教育指導課
倉重教育指導課長、高谷課長代理（指導主事）、加藤指導班長（指導主事）、富山主事
- ・生涯学習課
武井課長

欠席 1名

- ・山内 地域学校協働活動推進員

傍聴者 0名

配布資料

- ・次第
- ・資料1 令和8年度 第1回 二宮町学校運営協議会長等情報交換会 出席者名簿
- ・資料2 令和8年度 二宮町学校運営協議会長等情報交換会 概要
- ・資料3 令和8年度 小中学校 学校運営協議会開催日程（予定）
- ・資料4 令和8年度 にのみや学園の主な取り組み
- ・資料5 ボランティアの登録シート（案）について
- ・資料6 にのみや学園通信

議事録

1 開会
2 教育長挨拶
・各校の取り組み内容を、情報交換して、より良い教育活動をしていただきたい。 ・4年目を迎えた、にのみや学園の小中一貫教育の教育目標である「認め合い、高め合う、二宮の子」の教育目標の実現に向けて確実に前進できるものと確信している。
3 自己紹介

4 コミュニティ・スクールについて	
事務局	〈 資料の説明 〉 資料 1 資料 2 資料 3…現時点での予定。予定が分かり次第、各校から連絡いただきたい。 資料 4…5 校の年間予定をまとめた。 資料 5 資料 6
5 情報交換（１）令和 8 年度の取組について	
二宮中	・年 4 回の協議会では、最近の話題として子どもの居場所づくりや、地域に子どもたちが根ざす環境について取り上げられている。昨年度は、具体的な居場所づくりに向けて地域や関係者への働きかけを行い、検討を進めてきたが、広範囲に活動を広げるのは難しいため、ラディアンを活用する方向で話が進んでいる。 ・部活動が生徒たちの生活の励みとなっている背景から、働き方改革を踏まえつつ、新しい部活動のあり方について議論している。昨年度から導入された「拠点校方式」を活用し、二宮西中学校との連携を通じて、町内の中学生全体の部活動を円滑に運営する方法を模索している。しかし、テーマが大きく、教員や保護者、教育委員会との協力が必要であり、課題解決には時間と協議が必要と考えている。
二宮小	・教員の負担が増えると不登校やいじめ、子どもの自殺件数が増加する。その解決策として、地域や PTA と協力、ボランティア募集を行い、ボランティアに数十名が参加した。これにより、先生の負担が軽減する成果がみられた。今年は、ボランティアと他地域との連携を進めることが課題となっており、個人情報のデータを管理するシステムが必要と考える。 ・ボランティア活動が軌道に乗り、学び触れ合い部会に 80 名が登録、常時 10 名が活動している。校外安全部会や環境整備部会による登下校の見守りや学校環境整備を実施している。
一色小	・インスタグラムを通じて、活動記録を発信し、子どもたちが自然の中で楽しむ様子を広めている。 ・友情の山等、サポーターが手を入れる、子どもたちの豊かな学びを確保している。 ・友情の池に繋がる水路が水漏れをしていたが、竹で補修を行い、子どもたちが早速活用して遊び始めた。 ・LINE 登録しているサポーターは 45 名程を維持しているが、主に活動に参加するのは数名。参加条件は柔軟にしており、情報共有のみの方もいる。 ・今後、竹林間引きを利用した資材で流しそうめんを実施予定。 ・子どもたちの希望で、夜間の生き物観察が可能な暗視カメラを設置し、自然学習に活用している。 ・PTA 運営委員会への参加を通じ、情報共有体制を強化。スマイルネットルームを開放し、1 年生向けのスタートプログラムに貢献。

	・放課後子ども教室について、5月18日、6月22日のほか、28日(日)に週末開催を実施。週末開催とは、普段来られない保護者や地域の参加を促し、家族での参加が多く、好評である。年12回中、1回は週末開催の継続を検討している。 ・町で実施している引き取り訓練は、実際に災害が発生したときの状況が分からないため、保護者が迎えに行く時間など、マチコミを発信して一斉アンケートを実施することを検討中。
山西小	・コミュニティスクールが地域と連携しており、地域の祭りや既存活動を活かし、先生方のニーズに応じた学習支援や見守りをしている。 ・昨年度実施した流しそうめんの代わりに、地域のお祭り等に子どもを積極的に参加するように呼びかけを行い、地域とのつながりを深め、子どもたちの地域定着を図る。 ・学習支援の要望は年度当初に先生方から提出されているため、講師等の手配をしている。また、年度途中でも学習状況に応じて追加要望を受け付けて、都度講師等を手配している。
二宮西中	・第1回学校運営協議会の報告について。 ・見学機会を増やすために、会議予定を避難訓練参観後や性教育授業参観後や小中交流会参観後にしている。 ・修学旅行、体育祭、文化祭などは映像やスライドで協議会に提示して、意見を求める形式としている。
事務局	・不登校について、意見が出されたが、町では令和6年から令和7年にかけて、小学校10名、中学校10名の不登校児童生徒が減少した。これは、町の各種取り組みと、地域、学校関係者の皆様による「楽しい学校づくり」の成果だと考えている。
会員	・全国的にはどうか。
事務局	・全国の結果については、まだ公表されていない。町は全国より少し高い数値。ただ、平成30年度から増加傾向であったが、令和7年度に初めて減少した。
5 情報交換(3) ボランティアの登録シート(案)について〈資料5〉	
事務局	・前回の会議で提案のあったボランティア情報のデータ管理について、町のセキュリティ関係部署と協議した結果、実現は難しいということになった。 町のセキュリティポリシーにより、個人のパソコンから町のデータにアクセスすることができないこと、IDやパスワードの使いまわしや閲覧等の権限設定ミスによる個人情報の漏洩のリスク、不要な個人情報まで閲覧される可能性があること、などの運用や安全面での問題がある。 ・現在の対応方針としては、募集、受付はオンライン(町・県が利用する「e-kanagawa」等)または従来どおり紙ベースで行い、収集したデータは町で保管。学校へ情報を共有する際は紙ベースで配付する方法が現時点で最も安全と判断している。ボランティア募集時には、学校で情報を確認して、連絡調整をする。
会員	・データにアクセスすることは、個人データを閲覧することが不可能なのか、学校、学校運営協議会長は閲覧可能か。
事務局	・閲覧はできない。町のセキュリティポリシーの関係で独自のネットワークを使用してい

	るためである。
会員	・町の住民のデータに、ボランティアのデータを加えることはできないのか。
事務局	・住民票のデータは外部からアクセスできないようにブロックされている。また、一般の方はアクセスすることはできない。そのため、学校へ情報を渡す場合は紙ベースで直接渡す形になる。
会員	・紙の方が情報漏洩のリスクが高いと思う。
事務局	・町のデータにアクセスすることができないので、紙ベースしかない。
会員	・紙しか方法がない中で、無理に取り入れる方が、負担が大きくなると思う。
会員	・各学校では、個人情報のデータはどこで管理しているのか。
会員	・一色小学校では、登録先が学校のため、ボランティアの方のデータは学校で管理している。
会員	・二宮小学校では、インターネットに繋がっていないパソコンで管理している。 ・町としては、必要な場合は紙ベースで各学校に情報を渡し、紙ベースの管理方法が重要ということか。
事務局	・学校が行っているボランティア募集・登録方法では、学区外在住の方や他校でボランティア活動ができる方の情報を集めることができない。より多くの方にボランティア活動に参加していただきたいという要望があったことが始まりである。当初は、各学校が持つ名簿のうち「他校でも活動可能」な方を町が1つのデータベースに登録し、必要に応じて各学校に紙ベースで情報を渡す案があった。また、5校分をまとめるのは町の役割だと考えた。そのため、登録用紙を全校統一にする案がでていた。 →効果がないということであれば、現在の町が考えている方向では実現は難しいと思う。
会員	・町がボランティア登録の窓口になるとありがたいが、LINE を活用して、「にのみや学園ボランティア希望の方はこちらから登録してください」等 QR コードで対応する方法もあると思う。
事務局	・登録情報は町が管理するが、誰でも登録可能だと、身元不明の方や信用できない方が登録する可能性があるため、現時点では学校がボランティア募集の窓口になっていただきたい。 ・各学校から提出された登録情報を町がデータ化し、必要に応じて各学校へ渡す。
会員	・現在登録されているボランティアの方に他校でボランティア活動をしたいかどうかを確認して、それを共有することが第一歩になるか。
事務局	・はい。
会員	・各学校で登録形式がバラバラのため、これを統一し、登録しなおす必要がある。
会員	→町が持つデータと学校が持つデータが別々になると差異が生じる。また、データを一元化するのが望ましいが、単にデータを吸い上げるだけでは意味がないと思う。
会員	→町でデータを一元化することが難しいということだから、今は考えられないと思う。
会員	・他市町村の状況は確認したか。他市町村ごとにやり方が異なっていると思う。
事務局	→データの管理については、他市町村の対応も学校単位であったり、教育委員会や市町村が一括管理している等やり方は多様である。また、募集等の方法も自治体ごとに異なり、

	独自のシステムを使用している可能性もあるため、比較するのは難しい。
会員	・学校への負担は避けたい。地域学校協働本部があり、そこで管理できるのが理想で学校への負担も減らせるが、実現が難しい。
会員	・二宮小学校は現状のままで良いと考える。
会員	・現在、二宮小学校と二宮中学校で Google 登録フォームを活用して運用しているが、データ管理は誰がしているのか。
会員	→校長先生と教頭先生と学校運営協議会員の方1名。
会員	→Google 登録フォームには、他校でボランティア活動が可能かどうかの記載はあるのか。
会員	→二宮小学校と二宮中学校のみ。
会員	・ Google 登録フォームがあることによってお声がけしやすくなっている。 ・ ボランティア登録シートは重要であり、多くの方に登録をしていただきたい。
会員	・ 個人情報のデータは町で管理してほしい。
会員	→町でデータの管理をする場合には、各学校へ紙ベースで対応ということになると思う。 ただ、実際にやってみないとわからない。
会員	→紙ベースでは、情報漏洩のリスクがあるため、従来通りのやり方が良いと思う。
会員	→従来通りでは、ボランティアの登録をお願いするお声がけが限定されてしまうことが心配。
会員	→町は個人情報のデータ管理は行わずに、現状維持を保ちつつ、他校で活動ができる方を紹介できるようにすればよいのではないかと。 また、現在、二宮小学校と二宮中学校で Google 登録フォームの活用をする際に、他校の保護者から他校への呼びかけが無いことへの違和感ということで話があるため、「現在試行中」等の文言を入れてほしい。
会員	・ 例えば、一色小学校のボランティアの方は、二宮小学校と二宮中学校のボランティア活動に参加できるのか。
会員	→興味のある方は多いと思う。
事務局	・ ボランティア登録の際に、他校へ情報を共有する理由や目的を明確にした方がよい。また、地区の記載ではなく、「二宮在住の方」等表現を柔軟にすることをすすめる。 ・ 当初の話にあったボランティアの登録シート（案）はどうするか。保留でよいのか。
会員	→従来通り対応する。
5 情報交換（４）その他 二宮町立中学校の進学に自由選択制を導入することを求める決議について	
事務局	・ 今回の議案については、どこに住んでいても自由に学校を選べる制度。 ・ メリットとしては、自分の意志で学校を選択できること。 →過去に検討された際には、保護者から兄弟姉妹間で学校が異なったり、子どもが混乱する可能性、立地の良い学校へ希望が集まってしまう等の問題も指摘された。 ・ 町民には議会だよりを通してお知らせされる予定。
会員	・ 決議については、「決定」してしまったのか。また、次の動きとしてはどのようなになるのか。

	・期限は決まっているのか。
事務局	→議会としての提案であり、議会が町や教育委員会に対して総意として提案したもの。今後、町と教育委員会が検討し、結論を出さなければならないが、期限はない。
会員	・自由選択制にするのであれば、一部の子ども意見だけではなく、より多くの子ども意見聞くことが必要。また、しっかりとした根拠も必要。
会員	・2校しかない状態では自由選択制の導入にはリスクがあるため、「抽選で人数を決定する」など、偏らないための対策が必要だと考える。
会員	・人間関係を理由に学校の選択をするのは、教育的によくないと思う。 ・自転車通学について、過去に二宮西中学校の保護者から認めてほしいという意見があったが、学校周辺の坂道や細道が多く認められない。 →道路の整備やコミュニティバスの増便の対応が必要だと考える。
会員	→コミュニティバスは海側にはバス路線がないため、通学の不便さがある。
会員	・現状、自転車通学は難しい(安全性の問題や熱中症の危険)ため、まずは、道路整備やコミュニティバスの制度の具体的な改善が必要だと考える。
事務局	＜ 次回について ＞ ・次回の開催日は、11月13日（金）。 ・議事録は、皆様にご確認いただきますので、ご協力のほどお願いいたします。
	閉会